

渡辺こうへい

県政を進める7つの政策

- 1 国・県・市町村の連携による財源の確保
- 2 コロナ禍と物価高で傷ついた県内経済の立て直し
- 3 人口減少・少子高齢化対策は現場にあった政策へ
- 4 福島の次世代を担う人づくり・教育環境の充実・整備
- 5 災害に強く持続可能な農林水産業を目指す
- 6 県土の強靱化・流域治水の推進
- 7 着実な廃炉と風評払拭の強化

福島県のより明るい未来を切り拓いていくために全力を尽くします!!



県議会での一般質問ハイライト

令和2年2月議会 釈迦堂川の水害対策について

Q 県は台風第19号による甚大な浸水被害を踏まえ、釈迦堂川の整備にどのように取り組んでいくのかお尋ねいたします。

A 釈迦堂川の整備につきましては、台風第19号による洪水が堤防を越え、浸水被害が発生したことから、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトによる国の整備に併せ、河道掘削や護岸工などを集中的に実施してまいります。

土木部長

令和3年2月議会 公立小中学校におけるICTの活用について

Q 県教育委員会は公立小中学校の美術や音楽の授業におけるICTの活用にとり取り組んでいくのがか尋ねます。

A 美術や音楽の授業におけるICTの活用につきましては、見る、聴く、触れるなど感覚を働かせる学習に加え、コロナ禍においても遠隔により大学等の専門家から学ぶなど、幅広い授業が可能であると考えております。今後は、作品の制作や楽器の演奏などの体験をオンラインで補完する活用事例を普及することにより、子供たちの感性や創造性を育む教育を充実してまいります。

教育長

令和4年2月議会 経済安全保障について

Q 県警察における経済安全保障の取組について尋ねます。

A 県警察における経済安全保障の取組につきましては、県内の企業や研究機関の技術が当然に狙われる喫緊の課題と認識しております。県内で活動する企業等へ定期的に情報提供を行うとともに、経営者等へ注意喚起の講演等を行うアウトリーチ活動を既に開始しております。今後は、県警察に設置した経済安全保障対策プロジェクトチームを活用し、情報収集、分析や取組みも強力に推進してまいります。

経済産業部長

令和2年6月議会 福島空港について

Q 新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、福島空港の路線維持に向けた取組を強化すべきと思いますが、県の考えを伺います。

A 路線維持は、利用者減により厳しい状況です。航空会社の今年度のターミナルビルの使用料を全額支援し、負担を軽減をはかります。また、地元自治体や関係団体と一丸となり観光とビジネス両面から利活用を促進し、路線維持に向けた取組を強化してまいります。

観光交流部長

令和3年9月議会 風評・風化対策について

Q 韓国をはじめとした諸外国における本県への風評を拡散する情報発信について、知事の考えを尋ねます。

A 東京オリンピック・パラリンピックでの海外選手による桃のおいしさをはじめとした発信は、県民を大いに勇気づけた一方で、一部の国における県産農産物への風評を助長する発信は極めて残念であります。政府に対して正確な情報発信の強化を求めました。国や関係機関と連携し、県産農林水産物の高い品質や地域の魅力といった福島の正しい姿を粘り強く発信し、風評の払拭に取り組んでまいります。

知事

令和4年9月議会 再生可能エネルギーについて

Q 再生可能エネルギー発電設備の適正な導入及び管理について県の考えを尋ねます。

A 再生可能エネルギーの発電設備の適正な導入及び管理につきましては、現在国の検討会において関係省庁横断的に議論がなされております。7月末に示された検討会の提言案には、開発事業者から第三者に転売する際の住民説明会等による事前周知の義務化、関係法令違反への対応強化など、地域の懸念や課題の解消に向けた取組の在り方が盛り込まれていることから、国の動向を踏まえ、適切に対応してまいります。

企画調整部長



県政レポート特別号

わたなべ こうへい

自由民主党 福島県議会議員

須賀川市岩瀬郡選挙区

このリーフレットを手にとりいただいた皆様へ

令和元年に「県政一新!新時代への責任!」をスローガンに福島県議会議員として当選以降、日々全力疾走で政治活動を続けてきました。この1期4年間で振り返ると災害や感染症など様々な危機が立て続けに発生しました。その対応に走り続けてきました。また、「県政一新!」のスローガン通り、歴史ある福島県議会において1人の新人議員が新しい風を吹かせてきたと自負しています。

そして、次のスローガンは「全ては県民のために!」です。自由民主党の立憲宣言は「政治は国民のもの」から始めるように、「県政は県民のもの」でなければなりません。私は地域に根を張り、その地域に住む一人ひとりの声を代弁して参りました。同時にサイレントマジョリティーと呼ばれる「大多数の県民の声なき声」を聞き取り、議会で訴えてきました。今後も「全ては県民のために!」という信念で県政を前に進めていきます。

このリーフレットはこれまでの活動を凝縮して掲載していますので、まだまだ書き足りないというのが本音です。「もっと渡辺康平の政策を聞きたい」「実際に会って話をしたい」という方がいましたら、是非とも県政報告会にご参加ください。SNSで集会の日時を発信していますので、フォローよろしくお願いたします。

全ては県民のために!

各種SNSで
情報発信中!!



X (Twitter)



Facebook



Instagram



YouTube



公式ウェブサイト

行動力×発信力×実行力

県議会議員1期目の活動実績

令和元年東日本台風災害への対応と対策

令和元年の台風19号により甚大な被害が発生。県議当選後、真っ先に阿武隈川、釈迦堂川などの河川整備の必要性を議会で取り上げました。特に阿武隈川の遊水地整備については鏡石町、矢吹町、玉川村の要望を県執行部に繋いできました。



県議会議場にて一般質問

新型コロナウイルス感染症対策



福祉公安委員会における議案審査

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症。渡辺康平は福島県内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護連盟から情報収集するとともに、所属する福祉公安委員会において県のコロナ対策予算について審議しました。

また、コロナ禍により「社会・経済・教育」への影響は甚大であり、根本匠議員に対して指定感染症の2類相当から5類への見直しを訴えました。

2度の福島県沖地震への対応と被災者支援

令和3年、令和4年と2年連続で福島県沖地震が発生。須賀川市・鏡石町・天栄村における被害状況を調査しました。調査結果をもとに自由民主党会派として国に対して災害復旧とグループ補助金の創設を要望しました。



長沼アスクにおいて地震被害状況を調査(令和3年2月)

霜・ひょうによる農業災害への支援

令和3年と令和5年は降霜、令和4年は降ひょうにより、果樹や野菜に多大な被害が発生。他の災害と同様に現地調査を行い自民党会派として国や県に要望活動。その結果、防霜ファンの設置やひょう害対策の支援事業等を事業化できました。

気候変動により農業に対する様々な災害が起きています。これからは災害に強く、持続可能な農業が必要です。



ひょう被害の状況調査(令和4年6月 須賀川市小倉地内)



霜被害の状況調査(令和5年4月 須賀川市大桑原地内)

東日本大震災後の風評との戦い

震災と原発事故以降、廃炉や処理水について国内外で偽情報や印象操作が行われています。「福島が風評に負けてはならない」という信念で、風評加害への抗議、そして国や県に対して毅然たる風評対策をとるよう要望してきました。またFacebook、Twitter、Instagram、YouTubeを活用して処理水についての科学的情報を積極的に発信。その内容が注目され産経新聞や月刊正論に取材を受けています。

福島県議「科学が風評に屈してよいか」処理水海洋放出

2023/7/21 00:18 奥平 康平

Twitter Facebook YouTube

著者: 奥平 康平 地方: 北海道・東北 掲載

福島県議の若手政治家。(本人提供)

東京電力福島第1原発の処理水海洋放出計画を巡り、国際原子力機関(IAEA)は国際的な安全基準に合致すると結論付けた。一方、科学的根拠に基づかない言説は拡散され続けている。被災地を苦しめる「風評加害」について福島県議会でSN S(交差サイト)などで問題視してきた渡辺康平福島県議は、産経新聞の取材に「科学が風評に屈してよいか」と訴え、毅然とした対応を求めた。

産経新聞へのリンク

処理水の海洋放出についての産経新聞からインタビューを受ける(令和5年7月)

静観の福島県議会

保守の奮闘、リベラルの矜持

甲狀腺検査を巡る議論について産経新聞のインタビュー記事(令和4年9月)

甲狀腺検査を巡る議論について産経新聞のインタビュー記事(令和4年9月)

鳳坂トンネルの供用開始

鳳坂トンネルについては、斎藤健治前県議がライフワークとして取り組み工事が実現。渡辺康平が県議として当選後は、鳳坂トンネルの供用開始を一般質問で求めてきました。

令和4年9月議会の一般質問で早期の供用開始を質問したところ、県土木部長から「11月27日供用開始」という答弁を引き出しています。

今後は鳳坂トンネル手前の急カーブについて道路改良を求めています。

天栄の国道118号鳳坂工区 県中地方～会津地方結ぶ

11月27日午後3時開通

利便性向上、観光振興期待

任用上や観光興致が期待される。鳳坂トンネルは、国道118号の鳳坂工区(天栄市)に建設された。トンネルは、天栄市と会津地方を結ぶ重要な交通の要所となる。開通後は、観光客の増加や地元産品の販売促進が期待される。また、地域の活性化にも貢献する見込みだ。

令和4年9月県議会の一般質問で鳳坂トンネルの供用開始を報じる福島民報と福島民友の両紙。

様々な地域で県政報告会を実施



県政での活動を皆様にご報告するため、様々な地域の集会所で県政報告会を実施してきました。感染症の拡大があり、実施できない時期もありましたが、20回を超える報告会を実施しました。

◀県政報告会の様子

渡辺康平のプロフィール

昭和60年8月15日 須賀川市生まれ

学歴
平成13年3月 須賀川市立第二中学校 卒業
平成16年3月 福島県立須賀川高等学校普通科 卒業
平成29年9月 日本大学通信教育部法学部 政治経済学科 卒業

職歴

平成16年 4月 航空自衛隊入隊
平成24年 4月 航空自衛隊退官
平成24年 5月 経済評論家 秘書
平成26年 1月 自由民主党福島県第三選挙区支部職員
平成27年 1月 福島県議会議員 斎藤健治 秘書
平成27年 8月 須賀川市議会議員選挙にて初当選
令和元年11月 福島県議会議員選挙にて初当選

現任

自由民主党須賀川市岩瀬地区支部支部長
自由民主党福島県連組織委員会副会長
自由民主党福島県青年部副部長
福島県議会日台友好議員連盟 事務局長
福島県議会日台友好議員連盟 事務局長